

令和4年度

事業報告書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日



社協キャラクター「福ろう」



ふれあいネットワーク

三次市社会福祉協議会

目 次

総括	1
I 法人運営の取り組み	
1. 沿革・歩み	2
2. 事務所の所在地	3
3. 三次市社会福祉協議会組織図	4
4. 役員評議員一覧	5
5. 三次市社会福祉協議会本支所・施設・年代別職員数	6
6. 会議の開催	7
7. 社協組織の基盤強化と活動財源の確保	9
8. 三次市指定管理施設の管理運営	10
II 地域福祉事業	
1. 地域福祉活動の推進	
(1) ボランティアはるかぜネット	11
(2) ふれあいいいきサロン事業の推進	11
(3) 地域健康づくり事業	11
(4) 出前講座	12
2. 地区社協活動助成事業	
(1) 令和4年度地区社協連絡協議会	12
(2) 各地区社会福祉協議会との連携・協働	12
(3) 地区社協事業活動概況	13
3. ボランティアセンター事業	
(1) ボランティア交流会	13
(2) ボランティアグループへの活動助成	13
(3) ボランティア活動保険	13
(4) 三次なんでもボランティアバンクへの登録と募集	14
(5) 手話・点字・録音ボランティア養成講座	14
(6) 三次市被災者生活サポートボラネット推進事業	15
4. 生活支援体制整備事業	
(1) 地域の実態把握・情報整理・課題分析の取り組み	15
(2) 地域資源マップの活用による地域資源の把握・開発の取り組み	15
(3) 協議体に関する取り組み	15
(4) 地域住民通いの場としての元気サロンの開設支援	16
5. 三次市生活サポート事業	16
6. 福祉教育活動推進事業	
(1) 福祉教育推進校の指定と活動助成	16
(2) 福祉学習への社協職員派遣	16
(3) 福祉体験学習の講師調整、活動機材の貸出	17
(4) 障害への理解に関する啓発授業	17
(5) 高齢者体験・車イス体験	17
7. 広報事業	
(1) 市社協広報誌「みよし社協だより」の発行	17
(2) 市社協ホームページへの情報掲載	17
(3) SNS（フェイスブック）による情報発信・交流	17

(4) 市社協支所・施設だよりの発行	17
(5) 市内在局の報道機関への各種研修会の開催等の情報提供	17
III 福祉サービス利用の相談と支援	
1. ふれあい福祉センター事業	
(1) 心配ごと相談	18
(2) 法律相談	18
(3) 相談窓口の広報	18
2. 福祉サービス利用援助事業「かけはし」	
(1) 生活支援員	18
(2) 相談件数等	19
(3) 契約件数	19
(4) ケース検討会議参加	19
(5) 関係機関連絡会議と研修会への参加	19
3. 権利擁護センターもみじ	
(1) 契約締結審査委員会	19
(2) 相談会の開催	20
(3) 相談実績	20
(4) 受任・契約実績	21
(5) 令和4年度三次市市民後見人養成事業	21
4. 生活福祉資金等貸付相談事業	22
5. 民生委員児童委員会活動への支援と連携	23
6. 行政、各種関係団体との連携・協働体制の構築	23
7. 地域人材確保推進体制整備事業	23
IV 介護保険事業・障害福祉サービス	
1. 訪問介護	24
2. 通所介護	24
3. 短期入所生活介護	24
4. 居宅介護支援事業	24
5. 介護老人福祉施設・認知症対応型共同生活介護	25
6. 介護予防支援業務	25
7. 要介護認定調査	25
V 地域支援（高齢者介護予防）事業	
1. 家族介護者交流事業	25
2. 食の自立支援事業	26
3. 軽度生活援助事業	26
4. 認知症高齢者生活援助事業	26
VI 地域支援（障がい者自立生活支援）事業	
1. 移動支援事業	27
2. 障害児生活訓練事業	27
3. 要約筆記奉仕員・手話通訳者派遣事業	
(1) 要約筆記奉仕員派遣事業	27
(2) 手話通訳者派遣事業	27
(3) 点字・声の広報等発行事業	27

VII	その他の福祉サービス	
1.	障がい児者ふれあい事業	28
2.	車椅子短期貸出事業	28
3.	産前・産後ヘルパー派遣事業	28
4.	障がい者福祉団体との連携と支援	28
VIII	共同募金事業・日本赤十字社事業への協力	
1.	共同募金事業	29
2.	日本赤十字社事業への協力	29

《総括》

新型コロナウイルス感染拡大の影響による行動制限は緩和されましたが、依然として地域においては外出機会、人との交流などの自粛がなされ、地域福祉活動の推進が困難な状況がありました。また、長期にわたる社会・経済活動の抑制や国際情勢の変化による物価の高騰も相まって、生活困窮者の急増や社会的孤立の深刻さが進み、複雑・複合的な生活課題の顕在化も加速しています。

そのような中、コロナ禍において再認識した地域社会のつながりの大切さをもとに、豊かにつながりあう「地域共生社会」の実現を目指した「第5次地域福祉活動計画」の基本理念から、地域の福祉ニーズに向き合い相談・支援活動に積極的に取り組みました。三次市社会福祉協議会が令和4年度に実施した「法人運営」,「地域福祉事業」,「介護保険事業」などの概要は次のとおりです。

「法人運営」

令和5年度からの地域包括支援センターとの一体化に向け、理事協議会や総務部会を開催し諸課題を協議するとともに、グループホームみらさかの運営を民間事業者へ引き継ぐ作業を並行して進め、法人組織の見直し・整備を図りました。また、電気代や原材料の高騰によって財政運営が逼迫する中で、経費の節減に法人全体で取り組み、効率的な事業運営に努めました。

「地域福祉事業」

第5次地域福祉活動計画の活動目標に基づき、住民福祉活動の相談・支援活動を行いました。地域健康づくり事業では、十日市地区で地区社協やボランティアグループとの協働により「地域食堂」を立ち上げ、また君田、和田地区においても自治連合会などとの共催で「コーヒー講座」を開設し、地域住民のつながりづくりや地域活動を支援しました。

生活支援体制整備事業では、コロナ禍で一時休止の時期もありましたが、引き続き「元氣サロン」の開設支援に取り組み、住民主体の通いの場は56カ所となりました。さらに被災者生活サポートボラネット事業においては、市内福祉団体と共に災害ボランティアセンターの運営についてシミュレーション学習を行い、実際の災害時における対応力の強化を図りました。

また、近年相談や利用者が増加している「福祉サービス利用援助事業かけはし」や「権利擁護センターもみじ」「生活福祉資金貸付相談」事業では、関係機関との連携・協働により包括的な支援体制づくりを進め、継続的な相談・自立支援活動に取り組みました。

「介護保険事業」

介護保険事業所では感染症クラスターの発生、また職員や利用者などの感染により営業休止や職員の出勤停止が一時期余儀なくされました。事業所の運営や介護収入に大きく影響を及ぼしましたが、感染予防対策を徹底し、法人内や事業所間の連携を図りながら、安心安全で継続した介護サービスの提供に努めました。

「その他」

共同募金事業、日本赤十字社事業への協力、「ボランティア養成講座」「障害児生活訓練事業」「家族介護者交流事業」などの市受託事業を行いました。

I 法人運営の取り組み

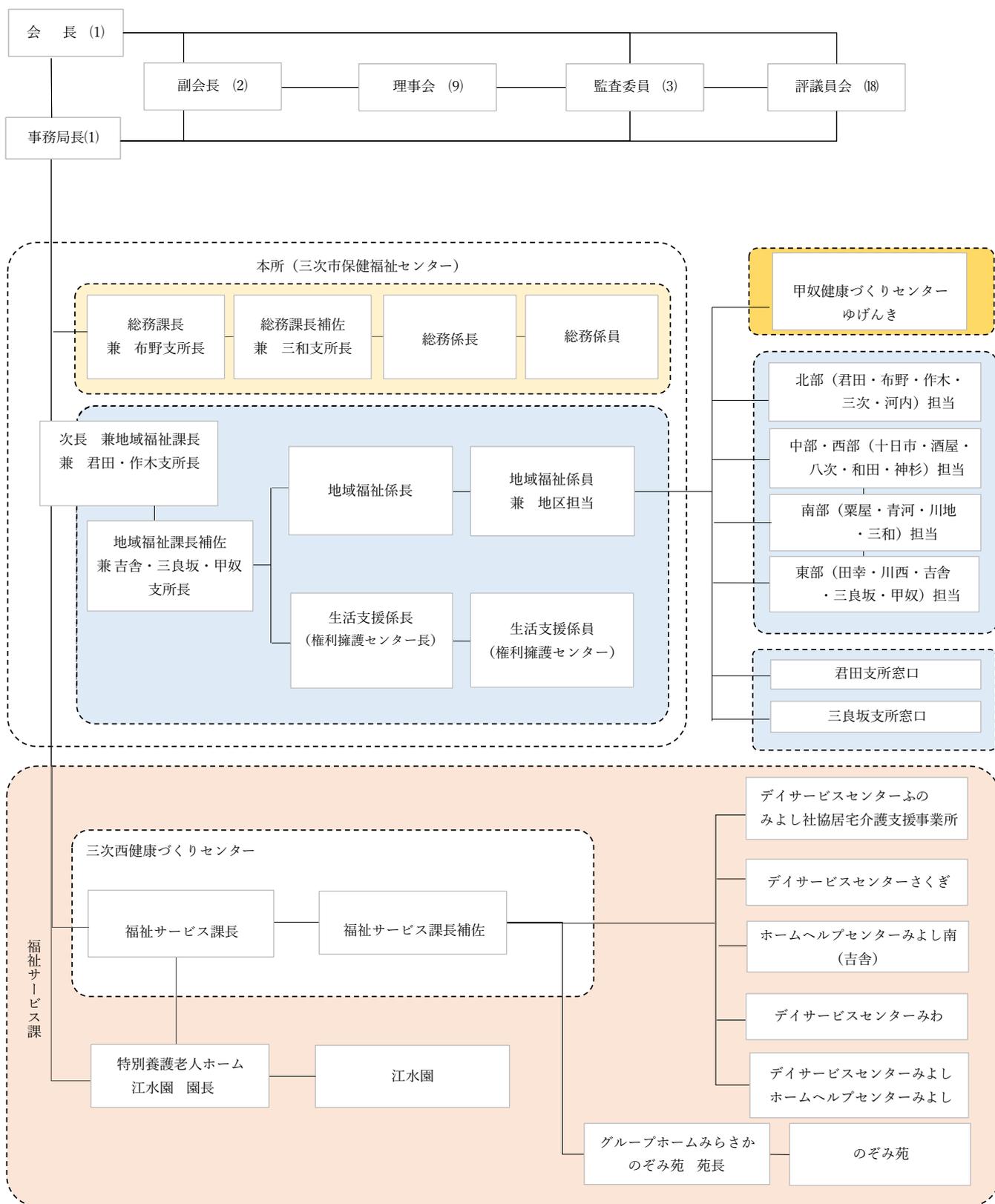
1. 沿革・歩み

平成15年12月16日	広島県知事より新社会福祉協議会設立認可
平成16年4月1日	三次市・君田村・布野村・作木村・吉舎町・三良坂町・三和町・甲奴町の各社会福祉協議会が合併して「三次市社会福祉協議会」となる。
平成17年4月1日	ホームヘルプセンターさくぎ・ふの事業所統合により「ホームヘルプセンターみよし北」開設
平成18年4月1日	ホームヘルプセンターきさ・みらさか事業所統合により「ホームヘルプセンターみよし南」開設
平成20年4月1日	グループホームみらさか「のぞみ苑」開設（指定管理施設）
平成20年4月1日	ケアプランセンター江水園・ふの事業所統合により「ケアプランセンターみよし北」開設
平成20年4月1日	「権利擁護センターもみじ」開設
平成20年5月1日	「デイサービスセンターみわ」開設
平成21年6月1日	ケアプランセンターみよし・きみた事業所統合により「ケアプランセンターみよし」開設
平成21年6月1日	ケアプランセンターきさ・みわ事業所統合により「ケアプランセンターきさ」開設
平成22年7月1日	ケアプランセンターみよし・みよし北事業所統合により「ケアプランセンターみよし北」開設
平成23年4月1日	三次西健康づくりセンター指定管理開設 ホームヘルプセンターみよし・みよし北事業所統合により「ホームヘルプセンターみよし」開設
平成23年5月1日	「デイサービスセンターみよし」開設
平成26年10月1日	ケアプランセンターみらさか・きさ事業所統合により「ケアプランセンターみよし南」開設
令和元年9月1日	ケアプランセンターみよし北・南 事業所統合により「みよし社協居宅介護支援事業所」開設
令和2年3月31日	「福祉レンタルみよし」廃止
令和2年10月31日	吉舎老人福祉センター指定管理廃止
令和3年3月31日	君田保健センター・みらさか福祉センター・君田小規模老人ホームむつみ荘指定管理廃止 「デイサービスセンターみらさか」廃止
令和3年4月1日	三次市福祉保健センター・布野運動公園指定管理受託 「君田支所・三良坂支所窓口」を市支所内に開設
令和5年3月31日	グループホームみらさか「のぞみ苑」指定管理廃止（民間譲渡）

2. 事務所の所在地

本所	〒728-0013 三次市十日市東三丁目14番1号 三次市福祉保健センター内 電話 (0824) 63-8975 FAX (0824) 62-6827
君田支所	〒728-0401 三次市君田町東入君644番地1 三次市役所君田支所内 電話 (0824) 53-2964 FAX (0824) 53-7002
布野支所	〒728-0201 三次市布野町上布野11093番地1 布野保健福祉センター内 電話 (0824) 54-2042 FAX (0824) 54-2883
作木支所	〒728-0124 三次市作木町下作木1503番地 作木老人福祉センター内 電話 (0824) 55-2119 FAX (0824) 55-7002
吉舎支所	〒729-4211 三次市吉舎町吉舎723番地1 吉舎保健センター内 電話 (0824) 43-3301 FAX (0824) 43-7005
三良坂支所	〒729-4304 三次市三良坂町三良坂5042番地1 三次市役所三良坂支所内 電話 (0824) 44-2182 FAX (0824) 44-7005
三和支所	〒729-6702 三次市三和町敷名11460番地2 みわ総合福祉センター内 電話 (0824) 52-3143 FAX (0824) 52-7009
甲奴支所	〒729-4102 三次市甲奴町西野592番地 三次市甲奴健康づくりセンターゆげんき内 電話 (0847) 67-2075 FAX (0847) 67-2195
江水園	〒728-0131 三次市作木町香淀655番地 電話 (0824) 55-3388 FAX (0824) 55-7066
グループホームみらさか	〒729-4303 三次市三良坂町灰塚37番地12 電話 (0824) 44-3738 FAX (0824) 44-7101
三次西健康づくりセンター	〒728-0026 三次市日下町143番地1 電話 (0824) 65-0321 FAX (0824) 65-0362

3. 三次市社会福祉協議会組織図（令和5年3月31日現在）



4. 役員評議員一覧（令和5年3月31日現在）

理事（会長）	亀井源吉	評議員	多門寺賢爾
理事（副会長）	有田雅俊	評議員	上本隆弘
理事（副会長）	原田豊春	評議員	藤井 健
理事（常務理事）	新田 泉	評議員	児玉一基
理事	森田和利	評議員	佐藤 巧
理事	近藤幸恵	評議員	定本典彦
理事	阿賀俊彦	評議員	佐島澄夫
理事	添田龍彦	評議員	徳岡澄子
理事	立花周治	評議員	住田彰宣
理事	小田暁美	評議員	福永 要
理事	新家嘉宏	評議員	佐倉 正
理事	田村眞司	評議員	法野谷智
理事	森末善彦	評議員	藤永信昭
理事	足利晃昭	評議員	田村芳和
定数 14名		評議員	伊藤 榮
監事	山口幸三	評議員	垣添博子
監事	坂井泰司	評議員	棧敷みすえ
監事	安永 統	評議員	新元史子
定数 3名		定数 18名	
任期 令和3年6月25日から令和5年定時評議員会終結の時まで		任期 令和3年6月25日から令和7年定時評議員会終結の時まで	

5. 三次市社会福祉協議会本支所・施設・年代別職員数（令和5年3月31日現在）

番号	支所名	男	女	職員数	一般職				医療職				福祉職				
					正職	嘱託	日額	パート	正職	嘱託	日額	パート	正職	嘱託	日額	パート	
1	本所	9	10	19	18			1									
2	三次西	6	26	32	2			4	2		2	6					16
3	君田(三良坂兼務)																
4	布野	4	24	28	8			2	1		1	2	1				13
5	作木	2	7	9	1				1		1	3					3
6	吉舎		23	23			1					3	2				17
7	三良坂		1	1				1									
8	三和	1	6	7	1						1	1	1				3
9	甲奴	5	6	11	5			6									
小計		27	103	130	35		1	14	4		1	5	15	3			52
10	江水園	12	20	32	5			3	2			17			1		4
11	グループホーム	5	16	21				3				10	1	1	1		6
小計		17	36	53	5			6	2			27	1	2	10		
合計		44	139	183	40		1	20	6		1	5	42	4	2		62

職 類	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
正職員	5	14	21	41	7		88
嘱託職員(再)					4		4
非常勤職員 (日額)			1		2	1	4
非常勤職員 (パート)		1	7	6	25	18	57
登録訪問介護員		2	1	4	14	9	30
計	5	17	30	51	52	28	183

職 類	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
正職員	88人	48.1%	92人	46.7%	96人	47.5%	67人	30.0%	65人	30.0%	63人	29.4%	66人	30.4%
嘱託職員(再)	4人	2.2%	4人	2.0%	2人	1.0%	13人	5.8%	17人	7.8%	18人	8.4%	18人	8.3%
非常勤職員 (日額)	4人	2.2%	4人	2.0%	5人	2.5%	25人	11.2%	32人	14.7%	36人	16.8%	36人	16.6%
非常勤職員 (パート)	57人	31.1%	65人	33.0%	66人	32.7%	85人	38.1%	71人	32.7%	66人	30.8%	68人	31.3%
登録訪問介護員	30人	16.4%	32人	16.2%	33人	16.3%	33人	14.8%	32人	14.7%	31人	14.5%	29人	13.4%
合 計	183人	100%	197人	100%	202人	100%	223人	100%	217人	100%	214人	100%	217人	100%

6. 会議の開催

三次市社会福祉協議会の基本方針に基づいた活動、事業を計画的に展開し、根幹となる役員・評議員と事務局職員が法人運営に参画することにより社協活動を活発化させ、また、地域の活動により多くの住民が参画できる場面をつくっていくために次の関係会議を開催しました。感染症対策のため正副会長会議や業務調整会議等、オンラインでの開催も引き続き実施しました。

- (1) 正副会長会議
- (2) 理事会
- (3) 理事協議会
- (4) 評議員会
- (5) 監査会
- (6) 総務部会
- (7) 業務調整会議
- (8) 社協事業検討会議
- (9) 管理者・係長会議

[正副会長会議]

法人運営や理事会・評議員会開催の事前協議を行うために毎月開催しました。

[理事会]

開催日	内 容
第1回 令和 4年 6月 6日	令和3年度事業報告並びに決算の承認 監事候補者の推薦 評議員会の招集
第2回 令和 4年11月29日	職務執行状況報告 地域包括支援センター事業・障害者支援センター事業・生活サポートセンター事業の受託について 定款の一部変更について 評議員候補者の推薦 評議員選任・解任委員会の招集 評議員会の招集
第3回 令和 5年 2月21日	報告事項 業務引継契約について
第4回 令和 5年 3月24日	報告 令和5年度事業計画並びに収支予算の承認

	定款の一部変更について 就業規則の一部変更について 非常勤職員等就業規則の一部変更について 給与規則の一部変更について 経理規程の一部変更について 理事及び監事候補者の推薦 評議員会の招集
--	--

〔理事協議会〕

第1回 令和 4年 7月20日	地域包括支援センターとの一体化について
第2回 令和 4年11月25日	地域包括支援センターとの一体化（案）について
第3回 令和 5年 2月 6日	地域包括支援センターとの一体化の進捗状況について

〔評議員会〕

第1回 令和 4年 6月22日	令和3年度事業報告並びに決算の承認 監事の選任
第2回 令和 4年12月 7日	報告事項 定款の一部変更について
第3回 令和 5年 3月28日	令和5年度事業計画並びに収支予算の承認 定款の一部変更について 就業規則の一部変更について 理事及び監事の選任

〔監査会〕

第1回	令和 4年 5月24日	令和3年度決算監査
第2回	令和 4年11月16日	令和4年度中間監査

〔総務部会〕

第1回	令和 4年 7月 4日	地域包括支援センター事業との一体化について
第2回	令和 4年10月26日	地域包括支援センター事業の受託について

〔業務調整会議〕

毎月開催し、事務局長、課長、施設長、課長補佐の管理職で、事業の効果的・効率的な展開のために、業務の調整を行いました。

〔社協事業検討会議〕

毎週開催し、事務局長、課長の管理職で、正副会長会議等の事前調整、事業

運営のあり方、財政健全化に向けての協議を行いました。

[管理者・係長会議]

2カ月に1回オンラインで開催し、各事業所・課の管理者や係長で、各課からの連絡事項について情報共有を図り、業務課題等について協議を行いました。

7. 社協組織の基盤強化と活動財源の確保

(1) 役員・評議員及び職員研修

介護保険事業所管理者等の法人内研修を開催するとともに、外部の研修会等を積極的に活用し、役員・職員の資質の向上に努めました。

[法人内研修会等開催状況]

研修名、内容など	参加人数
介護保険事業所管理者、事業部門別会議・研修（定例）	事業所職員

[法人外研修会等参加状況]

研修名、内容など	参加人数
キャリア別社協職員研修（若手職員）	2名
キャラバン・メイト養成講座研修	2名
生活福祉資金貸付事業新任担当職員研修	1名
広島県ホームヘルプサービスセミナー新任訪問介護員研修	1名
総合相談・対応力強化研修	2名
広島県認知症介護実践研修	2名
福祉サービス利用援助事業「かけはし」専門員研修	1名
社協生活支援コーディネーター実践研究会	1名
市町被災者生活サポートボランティアセンター運営者研修	2名
支え合い活動リーダー等養成研修	1名
社会福祉法人理事・評議員研修	6名
社会福祉法人監事研修	1名
社協の役割を見つめ直すテーブルセミナー	1名

など

(2) 社協会員の加入促進

社協会員の加入促進の取り組みとして、「みよし社協だより」やホームページ、SNSなどを通じて、広報活動や事業の紹介に努めました。

社協会費の令和4年度実績は、5,288,870円となり、対前年比で2.6%の減、寄附金は6.9%の増となりました。

〔会費・寄附金実績〕

(単位：円)

勘定科目	予算額	実績額	令和3年度実績額
会費収入	6,027,000	5,288,870	5,430,700
一般会費	5,462,000	4,923,870	5,062,700
賛助会費収入	410,000	235,000	228,000
特別会費収入	155,000	130,000	140,000
一般寄附金収入	7,400,000	6,483,811	6,499,793
指定寄附金収入	0	1,419,140	861,551
経常経費寄附金収入	0	0	30,000
会費・寄附金合計	13,427,000	13,191,821	12,822,044

〔会費・寄附金の推移〕

(単位：千円)

年度	2		3		4	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
会費収入	11,083	5,544	10,854	5,431	10,546	5,289
前年対比 (%)		▲2.6%		▲2.0%		▲2.6%
寄附金収入	481	6,640	480	7,391	482	7,903
前年対比 (%)		▲47.9%		10.9%		6.9%

(3) 苦情解決体制

第三者委員などによる福祉サービス苦情処理連絡会議を設置し、社会福祉協議会のサービスへの苦情と苦情処理体制の現況を報告しています。なお、令和4年度は、該当案件はありませんでした。

8. 三次市指定管理施設の管理運営

三次市から8拠点13施設の指定管理施設の管理委託を受け、地域の福祉拠点として、多様化する住民ニーズに対応した福祉・保健サービスの提供に努めました。各施設では引き続き感染症拡大防止に留意し、また電気代の高騰により節電対策に取り組みました。

〔指定管理施設〕 8拠点13施設

- (1) 吉舎保健センター
- (2) みわ総合福祉センター
- (3) 作木老人福祉センター「せせらぎの里」及び作木老人デイサービスセンター
- (4) 布野保健福祉センター及び高齢者共同生活支援施設

布野運動公園

- (5) 特別養護老人ホーム「江水園」及び作木あんしんリビング
- (6) グループホームみらさか
- (7) 三次西健康づくりセンター及びデイサービス施設
- (8) 三次市福祉保健センター

II 地域福祉事業

1. 地域福祉活動の推進

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続き、地域福祉活動の中止や延期もありましたが、その中でも感染予防に配慮し、オンライン会議なども活用しながら関係機関・団体と連携し取り組みました。

(1) ボランティアはるかぜネット（住民参加型在宅福祉サービス）

地域住民の方の生活を支えるとともに、住民同士の支え合いを進めるため、今年度もサービス調整と利用会員、活動会員の拡大のための取り組みを行いました。

① ボランティアはるかぜ会員の登録状況

年度	3	4
会員数	46名	27名

※活動会員の高齢化に伴い、活動可能な会員を再確認した結果、会員数が減少しました。

② はるかぜ会員活動時間・件数

年度	3	4
件数	198件	102件
延活動時間	221時間	102時間

(2) ふれあいいいきサロン事業の推進

サロン活動助成状況

年度	3	4
助成先サロン数	74件	79件

(3) 地域健康づくり事業

地域の様々なつながりを基盤に多様な活動主体と連携し、趣味や楽しみを共有することで、住み慣れた地域で心身ともに健康で暮らし続けるための環境づ

くりに取り組み健康づくりができるよう支援しました。

地区社協や自治連合会、地域の活動者と共同開催することで、地域の既存の行事の活性化や新たな住民交流の活動につなげることができました。



〔実施地域〕

十日市地区 地域食堂	開催日	毎月第4土曜日 全12回開催
	参加者	利用者延 1,774人 活動者延 119人
田幸地区 コーヒー講座	開催日	7月26日
	参加者	10名（定員10名）
君田地区 コーヒー講座	開催日	1月29日・2月19日
	参加者	10名（定員10名）
作木地区 伊賀和志井戸端会議	開催日	7月25日・8月24日・10月26日 ・12月21日・2月22日
	参加者	延 63人
和田地区 健康講座（16常会）	開催数	4常会で実施
	参加者	延47人

（4）出前講座

地域のサロン、学校、地区社協、老人クラブなどでふれあい出前講座を開催しました。

年度	3	4
対象講座	6講座	6講座
実施回数	20回	33回
受講者数	231名	397名

2. 地区社協活動助成事業

小地域福祉活動の中核を担う地区社会福祉協議会の活動が円滑に行われるように、活動助成や役員会議を開催しました。

（1）令和4年度地区社協連絡協議会

役員会 8月30日 2月21日

会議 9月29日 3月23日

（2）各地区社会福祉協議会との連携・協働

各地区社会福祉協議会や地区社会福祉協議会連合会の会議への参加や行事への協力を行いました。新型コロナウイルスや少子高齢化の影響により地域での交流機会が減っている状況でどのような取り組みが必要かなどについて協議しました。

(3) 地区社協事業活動概況

感染症対策をしながら敬老行事やつどいなどを再開された地区や訪問活動に取り組まれた地区がありました。社協だよりの配布や赤い羽根共同募金活動など市社会福祉協議会の事業への協力がありました。

3. ボランティアセンター事業

今年度も、新型コロナウイルスの影響でボランティア体験事業は実施の中止を余儀なくされました。また、ボランティアの活動者同士の交流会を、4年ぶりに開催しお互いの活動を知る事ができる良い機会となり、活動者同士のつながりづくりの場となりました。

(1) ボランティア交流会

実施日：12月10日

参加者：9団体 16名

(2) ボランティアグループへの活動助成

助成団体数	1団体 三次点訳サークル ”ほおずき”
助成総額	30,000円

(3) ボランティア活動保険

区分	登録グループ数 (件)		活動保険加入者数 (名)	
	3	4	3	4
本所	34	33	1,881	1,816
君田	1	1	9	9
布野	7	5	37	28
作木	1	1	12	12
吉舎	2	0	28	0
三良坂	3	3	60	57
三和	1	1	12	9
甲奴	1	1	104	102
合計	50	45	2,143	2,033

(4) 三次なんでもボランティアバンクへの登録と募集

市内のボランティアグループの活動を応援するために希望されるボランティアグループの会員募集や活動を社協だよりやホームページで紹介しています。

今年度は、ボランティアグループに再確認し、掲載の情報を更新しました。

年度	3	4
登録団体数	24団体	25団体

(5) 手話・要約筆記・点字・朗読ボランティア養成講座（市受託）

〔手話奉仕員養成講座〕

協力：三次手話サークル竹

年度	3	4
期間	6月～3月	5月～2月
回数	26回	35回
受講者数	20名	20名
修了者数	10名	9名

〔朗読ボランティア養成講座〕

協力：三次朗読奉仕者友の会

年度	3	4
期間	未実施	9月～12月
回数	0	4回
受講者数	0	15名



※令和3年度は新型コロナウイルス感染防止の配慮から開催中止

〔要約筆記者養成講座〕

協力：広島県北三次難聴者・中途失聴者協会

三次市要約筆記サークル「うかい」

年度	3	4
期間	2月～3月	4月～5月
回数	4回	4回
受講者数	4名	3名

〔点訳ボランティア養成講座・入門講座〕

協力：三次点訳サークル”ほおずき”

年度	3	4
回数	11回	11回
受講者数	16名	15名
修了者数	9名	9名



(6) 三次市被災者生活サポートボラネット推進事業

① 推進会議の開催

被災者生活サポートボラネット推進会議を開催し、各委員と災害時の被災者支援について協議しました。

第1回 7月1日 第2回 12月8日

② 災害ボランティアセンター設置運営研修会

三次市被災者生活サポートボラネット参加団体の参加も得て、災害時のボランティアセンターの運営方法についての研修を行いました。各種登録様式なども使用しながらボランティアの受付から送り出しまでの手順を確認しました。

4. 生活支援体制整備事業（市受託）

地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制を整備することを目的として、生活支援コーディネーター6名（第一層2名、第二層4名）を配置し、関係各機関と連携を図りながら事業に取り組みました。

(1) 地域の実態把握・情報整理・課題分析の取り組み

他機関（三次市高齢者福祉課・健康推進課・市支所・三次市地域包括支援センター）と連携し、地域ケア会議等に参加しました。そのなかで、地域課題把握や地域資源を活用した課題解決への支援を協働して取り組みました。

(2) 地域資源マップの活用による地域での資源把握・開発の取り組み

『三次市高齢者生活支援情報誌～あなたの生活応援します～（令和元年度版）』を活用し、三次市社会福祉協議会のホームページでの閲覧や印刷を可能にして、福祉関係者や高齢者家族も地域の情報を得ることができるようにしました。

(3) 協議体に関する取り組み

行政（三次市高齢者福祉課・健康推進課・市支所）、三次市地域包括支援

センターと協働し、地域ケア会議等に参加し、高齢者の生活支援に関する情報や社会福祉協議会の事業の情報を提供し、地域包括ケアの推進へ取り組みました。

(4) 地域住民の通いの場としての元気サロンの開設支援

高齢になっても「元気」で過ごせるように、また地域ぐるみの支え合いの場となるよう「元気サロン」の活動と立ち上げ支援を行いました。

令和4年度末現在、市内全域で元気サロンは56カ所で行われており、その内の新規の立ち上げが3カ所ありました。また、コロナ禍で活動を休止されていた元気サロンも3年ぶりに再開されたところもありました。

元気サロン説明会	3カ所 河内（1）、吉舎（1）、川地（1）								
元気サロン支援	<ul style="list-style-type: none"> ・元気サロン（市内全域56カ所）の活動支援 ・新規立ち上げ支援 【3カ所】 <p>河内：西河内元気サロン 吉舎：一日市元気サロン 川地：秋町元気サロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援内容 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">説明会</td> <td style="padding: 2px;">3カ所</td> <td style="padding: 2px;">延べ9回</td> <td style="padding: 2px;">参加者89名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">体力測定会</td> <td style="padding: 2px;">19回</td> <td colspan="2" style="padding: 2px;">参加者121名</td> </tr> </table>	説明会	3カ所	延べ9回	参加者89名	体力測定会	19回	参加者121名	
説明会	3カ所	延べ9回	参加者89名						
体力測定会	19回	参加者121名							

5. 三次市生活サポート事業（市受託）

要支援者が自宅で安心して自立した生活を送ることができるように、ボランティア（生活サポート会員）による日常のちょっとした困りごと（掃除、洗濯、調理、買い物等）を地域で支え合う事業で、現在11名の生活サポート会員が登録されています。今年度は利用希望者と会員との日程等が合わず利用実績はありませんでした。

また、会員同士の交流会を実施し、7名の参加がありました。生活サポート事業の活動についての確認と意見交流を実施しました。

6. 福祉教育活動推進事業

福祉教育の推進のため、小中学校に対して活動助成金を交付するとともに、福祉学習への職員派遣や講師調整、活動機材の貸出を行いました。

また、三次市身体障害者協会、介護福祉士会と連携し、「障害への理解に関す

る啓発授業」,「高齢者体験・車いす体験」を行いました。

(1) 福祉教育推進校の指定と活動助成

小学校 (20校)	三次、十日市、八次、河内、青河、酒河、田幸、和田、神杉、川地、川西、君田、布野、作木、吉舎、八幡、みらさか、三和、小童、甲奴
中学校 (8校)	三次、塩町、君田、布野、作木、吉舎、三良坂、甲奴

(2) 福祉学習への社協職員派遣

小学校 (1校)	三和
----------	----



(3) 福祉体験学習の講師調整、活動機材の貸出

小学校 (1校)	田幸
中学校 (1校)	塩町

(4) 障害への理解に関する啓発授業

小学校 (1校)	三和
----------	----



(5) 高齢者体験・車いす体験

小学校 (3校)	田幸、三和、神杉
中学校 (1校)	三和

7. 広報事業

三次市社会福祉協議会の活動や事業をはじめ、地域福祉の推進や制度、サービスについて広く地域住民や当事者、関係者の方の理解・協力を得るために、ホームページや SNS など、様々な方法による情報発信や提供に努めました。

(1) 市社協広報誌「みよし社協だより」の発行

発行回数：年6回（偶数月）

発行部数：1回 23,700部

(2) 市社協ホームページへの情報掲載

(3) SNS（フェイスブック）による情報発信・交流

(4) 市社協支所・施設だよりの発行

(5) 市内在局の報道機関への各種研修会の開催等の情報提供

Ⅲ 福祉サービス利用の相談と支援

1. ふれあい福祉センター事業

月～金曜日の平日、社協職員が電話や来所での相談に対応しています。また、年3回、土曜日に弁護士による法律相談を行いました。

(1) 心配ごと相談

[相談体制]

	相談体制	開設状況
本所	社協本所 職員	月～金曜日（祝・祭日除く）
支所	社協支所 職員	月～金曜日（祝・祭日除く）

[相談件数]

来所相談	192名
電話相談	260件
合計	452件

(2) 法律相談

相談体制 : 弁護士

開設状況 : 年3回

年度	3	4
相談件数	8件	10件

(3) 相談窓口の広報

広報の方法	市社協だより、音声告知放送、関係団体・各窓口へのチラシ配布など
-------	---------------------------------

2. 福祉サービス利用援助事業「かけはし」

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより支援が必要な方に対して、福祉サービスの利用支援や日常的な金銭管理、通帳・印鑑・証書等の預りなどの援助を行いました。

(1) 生活支援員

年度	3	4
活動従事者数	13名	10名

(2) 相談件数等

対象者等		年度		問合せ件数		相談等件数			
		3	4	3	4	3	4		
「かけはし」 に関するもの	認知症高齢者等	4	1	3	3	3	5		
	知的障がい者等	0	0	8		1			
	精神障がい者等	1	0	1	2	2			
	その他	1	0	5		1			
その他の相談・援助		1	5	4	0	0	5	6	
合計		2	1	4	1	5	8	9	5

(3) 契約件数

対象者	年度当初の実利用者数		契約件数(新規)		左記のうち被生活保護者数		契約終了件数		左記のうち被生活保護者数		3月末日の実利用者数							
	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4						
認知症高齢者等	1	8	2	3	1	4	2	4	9	1	3	0	3	2	3	3	1	
知的障がい者等	1	1	5	1	0	1	1	3	1	3	0	0	1	5	1	3		
精神障がい者等	1	7	2	1	7	5	0	0	3	7	1	2	2	1	1	9		
その他	3	3	4	2	0	1	0	1	1	1	0	1	0	4	3			
合計	4	9	6	3	2	8	2	7	3	5	1	4	2	5	6	3	6	6

(4) ケース検討会議参加 28回

(5) 関係機関連絡会議と研修会への参加 18回

3. 権利擁護センターもみじ

法人後見の受任を行うとともに、住民の方の身近な相談の場所となるよう努めました。法人後見の受任にあたっては、契約締結審査委員会を開催して審議しました。

(1) 契約締結審査委員会

第1回	令和4年4月6日
第2回	令和4年5月19日
第3回	令和4年6月20日
第4回	令和4年7月25日

第5回	令和4年9月15日
第6回	令和4年10月21日
第7回	令和4年12月1日
第8回	令和5年1月17日
第9回	令和5年2月15日

(2) 相談会の開催

成年後見・権利擁護等に関する相談会を開催しました。

開催日	場所
11月15日	君田生涯学習センター
11月16日	三次市福祉保健センター
11月17日	みわ総合福祉センター

(3) 相談実績

区分	一般相談	後見
本人	0	3
家族	6	8
介護支援専門員	10	3
在宅事業所	0	0
施設・病院	10	7
民生委員	2	1
行政・包括	11	7
その他	4	1
合計	43	30

(後見内訳)

区分	法定後見	任意後見	任意代理	遺言
高齢者	16	0	0	0
認知症	9	0	0	0
知的障がい者	1	0	0	0
精神障がい者	3	0	0	0
身体障がい者	1	0	0	0
未成年	0	0	0	0
合計	30	0	0	0

(4) 受任・契約実績

① 新規受任件数

年度	補助	保佐	後見	合計	かけは しから の移行	成年後見 制度利用 支援事業 利用者	市長申 し立て	複数 後見
3	2	0	7	9	5	2	5	1
4	0	6	9	15	12	1	11	0

② 市民後見人受任件数（社協との複数後見）

0件（令和5年3月31日）

③ 年度末時点での受任件数

年度	補助	保佐	後見	合計	かけは しから の移行	成年後見 制度利用 支援事業 利用者	市長申 し立て	複数 後見
3	4	6	17	27	13	6	20	1
4	2	13	23	38	24	7	28	0

④ 任意後見契約（受任）件数

年度	新規任意後見契約	任意後見契約	任意後見監督人選任	複数後見
3	0	3	1	0
4	0	3	1	0

(5) 令和4年度三次市市民後見人養成事業（市受託）

① 令和4年度受講者対象フォローアップ研修

	開催日	内容	参加者数
第1回	6月18日	市民後見人と意思決定支援 市民後見人の活動を終了しての所感	10名
第2回	10月15日	市民後見人としての対応 市民後見人の活動を終了しての所感	6名
第3回	2月18日	死後事務の実務	8名
講師	備北ひばり法律事務所 弁護士 前田剛志 氏 広島北部司法書士事務所 司法書士 飯田一生 氏 平岡社会福祉士事務所 社会福祉士 平岡和子 氏		

② 令和4年度成年後見制度講演会

実施日	10月1日
会場	三次市福祉保健センター ふれあいホール
参加者数	45名

内容	「成年後見制度の使い方と活用例」 庄原市空き家解決専門家ネットワーク 代表理事 司法書士 飯田 一生 氏
----	--

③ 「三次市民後見人バンク」「三次市社協生活支援員」登録

三次市民後見人バンク登録者

15名（令和5年3月31日）

三次市社協生活支援員登録者

13名（令和5年3月31日）

4. 生活福祉資金等貸付相談事業

生活福祉資金とは、低所得世帯等への資金の貸付と必要な相談支援を行い、経済的自立や生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とした事業です。

令和4年度は本則貸付32件の新規貸付相談対応を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業された方を支援するため、令和2年3月から開始された特例貸付は令和4年9月で新規受付終了となりました。延べ貸付件数288件、総貸付金額67,440千円となります。引き続き返済手続き等の対応や相談支援のフォローアップ支援体制を生活サポートセンターと連携して行っていきます。

〔生活福祉資金貸付実績〕

期末貸付件数	294件	
新規貸付件数	32件	内訳) 福祉資金 0件
		緊急小口資金 22件
		教育支援資金 0件
		総合支援資金 0件
		特例緊急小口資金 9件
		特例総合支援資金 1件

〔民生資金貸付実績〕

期末貸付件数	4件
新規貸付件数	0件

〔相談件数〕 264件

[新規貸付件数の推移]

年 度	3	4
生活福祉資金 ※特例貸付を含む	91件	32件
民生資金	0件	0件

5. 民生委員児童委員活動への支援と連携

三次市民生委員児童委員協議会定例理事会、各地区民生委員児童委員協議会へ出席し、社協の事業説明や地域課題や個別ケースの共有などを行い、地域活動を協力して行いました。

6. 行政、各種関係団体との連携・協働体制の構築

三次市の関係部局との連絡会議等を開催、出席し、事業の調整や情報の共有などを行いました。

また、三次市社会福祉団体（三次市遺族会連合会、三次市老人クラブ連合会、三次市身体障害者協会、三次市認知症の人と家族の会、広島県北三次難聴者・中途失聴者協会）をはじめとする各団体事業に協力しました。

7. 地域人材確保推進体制整備事業

三次市内の関係機関や団体が連携を図りながら福祉や介護人材の確保、育成、定着に向けた取り組みを行いました。

また、福祉や介護の仕事や施設の魅力を紹介する展示を14の参加団体の協力で10月・11月に、市内のショッピングセンター及び三次市福祉保健センターで行いました。



IV 介護保険事業・障害福祉サービス

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業の休止を余儀なくされました。令和2年度から感染症、自然災害でのリスクは続いています。各事業所にて衛生管理体制の構築による感染拡大予防の徹底、災害時における適切な情報収集により事業の継続運営を確保しています。

令和4年度の収入は介護保険事業が増加、障害福祉サービスは減少となり、介護保険事業・障害福祉サービスの収入合計は469,184千円で、令和3年度に比べ1,654千円増となりました。支出面では、介護人材の慢性的不足に伴い一部の事業所では欠員状態が継続していますが、徹底的な効率化を推進して、介護職員の事業

所間の連携・相互支援により人件費支出の抑制を図ることで、利益の確保に努めました。

1. 訪問介護（ホームヘルプセンターみよし南／みよし）

要介護者・要支援者・障がい者の方が、自宅で自立した生活を送れるようサービスの提供を行いました。

[介護保険訪問介護事業]

年度	年延べ利用者数	月平均利用者数	収入額（円）
3	20,386	1,699	71,305,930
4	19,344	1,612	69,470,376

[障害福祉サービス事業]

年度	年延べ利用者数	月平均利用者数	収入額（円）
3	5,034	420	20,405,700
4	4,483	374	17,986,829

2. 通所介護（デイサービスセンターふの／さくぎ／みわ／みよし）

要介護者・要支援者の方の日常生活上の機能訓練、社会的孤立感の解消、及び心身機能の維持向上を目的とし、自立支援へ取り組みました。

年度	年延べ利用者数	月平均利用者数	収入額（円）
3	11,096	925	96,847,145
4	11,485	957	105,084,846

3. 短期入所生活介護（江水園短期入所生活介護）

在宅の要介護者、要支援者の方が短期入所され、日常生活上のお世話や機能訓練などを提供しました。

年度	年延べ利用者数	月平均利用者数	収入額（円）
3	3,157	263	31,831,752
4	3,215	268	33,595,212

4. 居宅介護支援事業（みよし社協居宅介護支援事業所）

居宅サービス計画の作成及び介護保険サービス利用の支援を行いました。主任介護支援専門員を配置するなど質の高いサービスを提供するよう努めました。

年度	年延べ利用者数	月平均利用者数	収入額（円）
3	2,606	217	45,434,740
4	2,471	206	44,396,530

5. 介護老人福祉施設・認知症対応型共同生活介護

入居者一人一人の生活を第一に、穏やかな生活が送れるようサービスの提供を行いました。

[特別養護老人ホーム江水園]

年度	年延べ利用者数	1日平均利用者数	収入額(円)
3	10,900	29.8	131,734,805
4	10,205	27.9	125,290,834

[グループホームみらさか]

年度	年延べ利用者数	1日平均利用者数	収入額(円)
3	6,245	17.1	69,895,130
4	6,439	17.6	73,060,527

6. 介護予防支援業務(みよし社協居宅介護支援事業所)

地域包括支援センターみよしから介護予防支援業務の一部を受託し、要支援の方の介護予防サービス計画の作成及び介護予防サービス利用の支援を行いました。

年度	年延べ利用者数	月平均利用者数	収入額(円)
3	18	1.5	74,340
4	19	1.6	93,778

7. 要介護認定調査

居宅介護支援事業所及び介護老人福祉施設において、要介護認定調査を受託し、認定調査を実施しました。

年度	延調査件数	収入額(円)
3	75	247,500
4	62	204,600

V 地域支援(高齢者介護予防)事業

1. 家族介護者交流事業(市受託)

在宅で要介護1以上の要介護者を介護されている家族に対して、介護者のリフレッシュ及び相互交流の場を提供しました。



	実施日	参加数	内容・実施場所
第1回	7月14日	6名	「まるっとわかる！食事と栄養 ～あっという間にできる簡単料理の紹介～」 場所：十日市きんさいセンター 講師：本藤 望美 氏（管理栄養士）
第2回	10月13日	10名	「自分の時間をつくって気分転換♪」 場所：奥田元宋・小由女美術館
第3回	12月7日	6名	「ココロとカラダを整える元気のツボ」 場所：酒屋コミュニティーセンター 講師：小林 一枝 氏（鍼灸院こもれび）

2. 食の自立支援事業（市受託）（君田／布野／作木）

在宅の高齢者の方などを対象に、健康づくりと安否確認などを目的に食事の提供（弁当）を行いました。デイサービス事業を行う2拠点（作木、布野）で3地域（作木、布野、君田）に対して事業を実施しました。

年度	延利用者数	収入額（円）
3	128	2,153,700
4	162	2,730,000

3. 軽度生活援助事業（市受託）（ホームヘルプセンターみよし／みよし南）

おおむね65歳以上の一人暮らし、又は世帯全員がおおむね65歳以上の方で、介護保険の対象とならない家事援助を必要とする在宅の高齢者に対し、週1回程度訪問し、支援しました。

年度	延利用者数	収入額（円）
3	64	93,440
4	109	159,140

4. 認知症高齢者生活援助事業（市受託）（ホームヘルプセンターみよし／みよし南）

認知症高齢者を介護されている世帯へ、介護者の不在の際に訪問介護員を派遣し見守り等を行い、介護者の負担軽減を行いました。

年度	延利用者数	派遣延時間数	収入額（円）
3	88	117.0	162,000
4	34	63.0	94,500

VI 地域支援（障がい者自立生活支援）事業

1. 移動支援事業（市受託）（ホームヘルプセンターみよし／みよし南）

肢体不自由者で外出に支援を必要とする障がいを有する方を対象に、外出等の支援をしました。

年度	延利用者数	収入額（円）
3	6	29,180
4	9	31,060

2. 障害児生活訓練事業（市受託）

春・夏・冬期の学校の長期の休みの間、在宅の障がい児等に日常生活上必要な生活指導を行い、障がい児の生活の安定と保護者の就労等を支援しました。

[利用者数]

年度	3	4
実人数	76名	62名
延人数	499名	194名

3. 要約筆記奉仕員・手話通訳者派遣事業（市受託）

(1) 要約筆記奉仕員派遣事業

聴覚に障がいのある方のために、講演やイベントの会場、病院等へ、「三次市要約筆記サークルうかい」の協力を得て、要約筆記奉仕員を派遣しました。

年度	行政	団体	個人	合計（件）
3	11	0	28	39
4	34	0	33	67

(2) 手話通訳者派遣事業

聴覚に障がいのある方のため、講演やイベントの会場、病院等へ、手話通訳者を派遣しました。

年度	行政	団体	個人	合計（件）
3	6	0	100	106
4	4	0	45	49

(3) 点字・声の広報等発行事業

視覚障がい者、寝たきりの高齢者等に対して、市広報、社協だよりなどの広報紙を、「三次朗読奉仕者友の会」「三次点訳サークルほおずき」の協力を得

て、録音テープや点字により情報提供しました。

種別	利用者数	備考
録音テープ・CD	10名	広報みよし、議会だより、社協だより
点訳広報等	4名	図書館だより、ほおずきだより、その他依頼されたものの点訳物

VII その他の福祉サービス

1. 障がい児者ふれあい事業

新型コロナウイルスの影響で、交流を目的とした「ふれあいわいわパーティー」や「ふれあいハイキング」を開催することができませんでした。

2. 車椅子短期貸出事業

病気、けが、術後等により一時的に生活に支障がある方などに対して、車椅子の貸し出しを行いました。

年度	3	4
貸出回数	48件	51件

3. 産前・産後ヘルパー派遣事業（市受託）（ホームヘルプセンターみよし/みよし南）

妊娠期または産後に、日中家事や育児の支援が必要な方へヘルパーの派遣を行いました。

年度	延利用者数	収入額（円）
3	112	426,010
4	34	128,180

4. 障がい者福祉団体との連携と支援

三次市身体障害者協会の会員の協力を得て、市内小中学校で「障害への理解に関する啓発事業」を行い、ゲスト講師として当事者の思いや活動について話をさせていただきました。

VIII 共同募金事業・日本赤十字社事業への協力

1. 共同募金事業

共同募金運動に、三次市共同募金委員会事務局として事業実施に携わりました。

地域福祉事業の重要な社会資源の一つと位置付けて、新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しつつ、街頭、職域、法人募金活動などへ協力して取り組みました。

〔募金実績〕

(単位：円)

年度	令和3年度	令和4年度
目標額	13,005,000	12,325,000
実績額	9,379,140	9,481,508
達成率	72.12%	76.93%
県域配分	3,744,000	3,598,000
地域配分	5,635,140	5,883,508

※県域配分、地域配分は翌年度の事業に充当されます。

〔令和3年度共同募金配分（令和4年度事業充当分）〕

(単位：円)

配分種別	配分事業	金額	件数	内訳		
県域配分 (A 募金)	地域福祉推進特別事業 配分	1,050,000	3	①権利擁護センターもみじ事業 600,000		
				②ボランティアはるかぜネット事業 400,000		
				③被災者生活サポートボラネット事業 50,000		
地域配分 (B 募金)	三次市共同 募金委員会 地域配分	5,635,140	126	分会名	件数	金額
				三次	46	1,739,016
				君田	13	363,060
				布野	7	398,013
				作木	6	336,893
				吉舎	23	1,015,207
				三良坂	11	727,967
				三和	11	666,532
甲奴	9	388,452				
合計		6,685,140	129			

※令和4年度配分事業は、令和3年度の募金が充当されています。

2. 日本赤十字社事業への協力

令和4年度の日本赤十字社会費と寄付金の実績は、4,477,909円となりました。また、災害義援金などの広報や募集を行い、県支部へ送金しました。

地域では、赤十字奉仕団活動の支援、救急法講習の開催協力など、赤十字活動の普及に努めました。

	会費 (500 円以上)	寄付金 (500 円未満)	合計	前年度実績
実績額	4,222,500 円	255,409 円	4,477,909 円	4,621,250 円



このマークは、社会福祉および社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手をとりあって、明るい社会を建設する姿」を表現しています。

社会福祉法人 三次市社会福祉協議会

〒728-0013 三次市十日市東三丁目 14 番 1 号
代表電話 (0824) 63-8975 FAX (0824) 62-6827
E-mail : mycity@cc.wakwak.com
<https://miyoshi-shakyo.com>